

評価者	文化財部長	榊渕 規彰
-----	-------	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針

総合計画上の位置付け	分野	歴史環境	施策の方針	史跡の指定、保存・管理、設備及び活用
目標とすべきま ちの姿	歴史的・学術的に重要な遺産については、順次、史跡指定などの手続きが進められ、保存管理計画のもと、適正な管理により保護されています。 また、整備された史跡については、公開・活用が図られています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	平成26年度	17.1%	平成27年度	16.3%	(回答者全体に占める割合)
-----------------------	--------	-------	--------	-------	---------------

(2) 妥当性

お金の使い方		お金の使い方		<p>＜妥当性の分析＞</p> <p>お金の使い方、仕事の効果ともに「ちょうどよい」と回答した割合が39.9%と、選択肢の中では多くなっている。次に多いのは、お金の使い方が「足りない」、効果も「不十分」が13.6%、次がお金の「使いすぎ」で効果が「不十分」の7.2%であった。</p> <p>市民意識としてはお金の使い方と仕事の効果について、約4割の理解がある一方、効果が上がっていないと考える市民もいる。平成26年度と比べてみても傾向的にはあまり変わらないものの、お金の使い方が足りず、効果も不十分と回答している人が増えていることから、経費を支出してでも効果的な保存管理を求めていると考えられる。</p>				
仕事の効果	使いすぎ	ちょうどよい	足りない		仕事の効果	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	4.5%	0.9%	0.0%		必要以上の効果	3.7%	0.7%	0.1%
ちょうどよい	9.9%	41.7%	0.9%		ちょうどよい	5.0%	39.9%	1.7%
効果不十分	7.6%	2.9%	8.1%	効果不十分	7.2%	4.7%	13.6%	
平成26年度				平成27年度				
全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)								

(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答	全体
平成26年度	19.7%	49.5%	8.0%	22.8%	100.0%
平成27年度	25.8%	43.6%	7.2%	23.5%	100.0%

2 内部評価

(1) 平成27年度の目標

史跡の公有地化を進めるため、買収該当地を遅滞なく取得する。  
 西ヶ谷やぐら群については、国の史跡指定を視野に今後の取組について、関係各機関と調整していく。  
 史跡永福寺跡は、平成27年度末に仮オープンを予定しており、そのための整備を円滑に進めていく。また、北条氏常盤亭跡の南側斜面の防災工事を平成28年度に実施するために、実施設計委託を行う。

(2) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

整理番号	評価対象事業名 事業名	決算値(千円)		総事業費(千円)		職員数(人)		今後の方向性	
		平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	事業内容	予算規模
文財-02	史跡買収事業		5,300		9,187		0.5	b	A
文財-03	史跡調査・整備事業	312	50	4,139	3,937	0.5	0.5	d	B
文財-04	史跡環境整備事業	174,607	192,400	197,570	219,610	3.0	3.5	b	B

(3) 主な実施内容

**【主な実施内容】**  
 国の補助を受け、史跡永福寺跡の用地買収を行った。(文財-02)  
 全国史跡整備市町村協議会関東地区協議会平成27年度総会及び役員会に出席し、各市町村の現状等情報交換を行った。(文財-03)  
 国等指定史跡の環境整備として、史跡永福寺跡の苑池復元整備工事及び史跡北条氏常盤亭跡の防災工実施設計業務等を行うとともに、公有地化した史跡の維持管理を行った。(文財-04)

**【実施できなかった事業とその理由等】**  
 史跡永福寺苑池復元整備工事について、国の補助金減額のため、当初予定していた範囲の工事が終了できず、平成28年度に引き続き整備を行うことになった。(文財-04)

**(4) 平成27年度の取組の評価**

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善

**<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>**

史跡買収に関しては、史跡指定地の買収要望に基づき、なるべく早く要望に応じる必要がある。しかし、買収経費等が不足していることから緊急性、優先性などを勘案した買収方針を定め、計画的な買収を進めて行く必要がある。  
 史跡の環境整備は永福寺跡の整備工事を進めるとともに、史跡北条氏常盤亭跡では、平成28年度に実施する防災工事の実施設計を行った。  
 公有地化した史跡指定地の維持管理については、危険木等の伐採、草刈りなどを委託等により実施したが、軽微な草刈りなどは職員対応となり、全ての公有地について十分な管理ができていないため、28年度は委託料を増額した。

**3 評価結果や市民意識調査結果をふまえ、施策の方針等としての、今後の方向性**

本施策の方針では、市民意識調査において「ちょうどよい」という評価が多かったが、今後の進め方については「現状のままが良い」が減り、「もっと力を入れるべき」が増えてきた。この評価を真摯に受け止め、今後も事業の必要性を理解していただくよう、市民に周知を図っていく必要がある。  
 また、維持管理についても、市民協働で実施していくなど、効果的な方法について検討していく必要がある。  
 さらに、史跡買収や維持管理業務にかかる経費について、一般財源に頼らない新たな財源の確保を検討していく。

**4 平成28年度の目標**

平成28年度の史跡買収予定地に関して、管財課と連携しながら、なるべく早く購入手続きを行っていく。  
 西瓜ヶ谷やぐら群について、平成27年度に実施した調査結果をもとに歴史的価値の評価を行い、国の史跡指定も視野に入れ、関係各機関と調整していく。  
 史跡永福寺跡、北条氏常盤亭跡の整備を着実に進めるとともに、今後の史跡整備の計画についての検討を行う。

**5 主な事業における指標(目標ごとに1つ)**

整理番号	文財-02	事業名	史跡買収事業					単位	件	指標の傾向		備考
指標の内容	国指定史跡の公有地化件数											
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31					
買収要望がある中で、確実に要望に対応していくため	目標値	1	1	1	1	1	1					
	実績値	0	1									
	達成率	0.0%	100.0%									
整理番号	文財-04	事業名	史跡環境整備事業					単位	箇所	指標の傾向		備考
指標の内容	整備及び維持管理を実施した史跡数											
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31					
史跡の整備及び適切な維持管理を行うことで、文化財の価値を周知するとともに、近隣住民や来訪者の満足度上昇に寄与するため。	目標値	10	10	10	10	10	10					
	実績値	9	8									
	達成率	90.0%	80.0%									

**参考 前年度外部評価結果への対応**

<p><b>鎌倉市民評価委員会からの指摘</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>史跡指定後、管理経費、整備の方向性の検討も必要である。</li> <li>史跡の指定数が多く、対象となる範囲も広範なため、全ての史跡で十分な管理ができていない等の課題がある。</li> <li>鎌倉の歴史環境を保護する事＝鎌倉らしさを大切にする、ということだと思うので、これらは鎌倉にとってとても重要な施策であると考え。一方で、その性質上それなりに予算規模が膨らむ施策であると思う。それらについて市民に了解を得る、という意味でも調査報告や、管理・整備した史跡がどのように貴重な財産であるのかを、市民に公開していったほしい。</li> </ul>	⇒	<p><b>指摘への対応、コメント等</b></p> <p>史跡整備の方向性等については、方向性を決定するための委員会の設置について検討を行う。当面はアドバイザー会議を開催し、今後についての助言を得ることを予定している。</p> <p>史跡の環境整備は、緊急性、重要性を検討し、優先順位をつけ整備を図って行く必要があると考えている。</p> <p>史跡の公有地化を図り、整備及び維持管理をしていくことは継続的に多大な経費が必要となることから、経費の節減に有効な維持管理方法や市単独の予算に頼らない財源の確保等について検討していく。また公開・活用については、一部を除き史跡永福寺跡の公開を行った。今後も史跡の保存・活用について、順次進めていきたい。</p>
--	---	---

## 鎌倉市民評価委員会の評価

### 《評価できるところ》

- ・歴史的・学術的遺産についての史跡指定等保存管理に向けた事業が進められている。
- ・史跡の数は年々増加していくであろう中、経費削減の中での努力が伺える。財源の問題を抱えながらの事業推進がいかに困難であるかが推察でき、その中で史跡の公有化、維持管理を推し進めた。
- ・市民の協力を仰ぎながら、様々な取組を行った。
- ・地道な啓発活動を実施した。

		評価の内訳						⇒	委員会の評価	
取組	↗	1	↘	0	→	7			→	
効果	○	0	△	2	-	6		-		

### 《課題》

- ・「もっと力を入れるべき」という意見が増えてきているが、財源の多くを国からの補助金に頼っている状況で、内部の財源からどのように捻出するかが問題である。
- ・市民への周知及び財源の確保については鎌倉市では永続的に続くであろう課題だと思うので、難しい課題だと思うがクリアすることが求められる。
- ・史跡買収予定地に関して、管財課と連携しながら、なるべく早く購入手続きを行うことが求められる。一方で、予算が限られた中、指定をどんどん増やしていけるのか、長期的視点に立った対応策の検討も求められる。

### 《提言》

- ・史跡の整備及び保存・活用は「古都鎌倉」にとり、必要となる施策であり、今後も着実に進めていく必要がある。
- ・新たな財源の確保については、観光との連携など、他の分野と協力しての推進を視野に入れてほしい。また、買収した史跡等について、有効に活用することにより収入につなげ、更なる事業の促進を図る方法についても検討すべきである。具体的な取組（見に来てくれた人が直接負担できるしくみ、他都市や他分野での取組、資産活用した財源の確保など）を検討するとともに、今後もっと市民と協働するなどして展開していくことも検討すべきである。
- ・公有地化件数の目標を年間1件としているが、資産価値はそれぞれ違うため、買収の要望が全体でどれくらいあるのかを明確にし、年間予算を考慮して中長期の買収計画を策定すべきである。
- ・市民は何が史跡なのか分かっておらず、この点に対する工夫も期待する。